

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	ニボルマブの効果に対する臨床的なサロゲートマーカーについて
研究責任者 (所属科名)	檜原 淳 (外科)
本研究の目的・意義	免疫チェックポイント阻害薬であるニボルマブは切除不能進行再発胃癌に対し、サードライン以降に使用が認められています。しかし PDL1 や MSH 発現などのバイオマーカーの意義は、いまだ不確定で、治療効果に反映されておらず、簡便に低コストで調べることは難しい状態です。今回臨床で調べられる簡便な採血・画像検査が、治療効果のマーカーとなりうるか、調査しました。
調査方法・調査期間	2017年11月～2019年6月までの情報を調査対象とします。 後ろ向きコホート研究であり、2019年7月までを研究予定期間とします。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2017年11月～2019年6月までに安佐市民病院外科にて胃癌と診断されニボルマブによる治療を受けられた方。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話 082-815-5211(代) 外科 部長 加納幹浩
備考	